

三重大医学部元教授を詐欺容疑で再逮捕 診療報酬を不正請求

社会 | 新着 | 事件・事故・裁判 | 三重

毎日新聞 | 2021/2/17 22:56(最終更新 2/17 22:56) 492文字



三重大医学部付属病院 = 津市江戸橋2で2020年10月2日、谷口豪撮影

三重大学医学部付属病院のカルテ改ざん事件で、津地検は17日、部下と共謀して診療報酬を不正請求したとして、臨床麻酔部元教授の亀井政孝容疑者（54）を詐欺の疑いで再逮捕した。亀井容疑者の逮捕は3回目。地検は認否を明らかにしていない。

再逮捕容疑は2019年9月上旬～20年3月上旬、部下で同部元准教授の境倫宏被告（48）＝詐欺と公電磁的記録不正作出・同供用罪で起訴＝と共謀し、医薬品製造・販売大手の「小野薬品工業」の不整脈用薬剤「オノアクト」を投与したように装い、三重県国民健康保険団体連合会などに診療報酬約80万円を不正請求したとしている。

一方、津地検は17日、オノアクトを使用する見返りに小野薬品工業側から現金を受け取ったとして第三者供賄容疑で逮捕していた亀井容疑者を同罪で、贈賄容疑で逮捕した同社社員2人を同罪でそれぞれ起訴した。

起訴状などによると、亀井被告は18年1～3月、同社社員、宮田洋希被告（44）らからオノアクトを積極的に使用するよう依頼を受け、見返りとして三重大の口座に200万円を振り込ませたとされる。関係者によると、亀井被告は黙秘しているという。【朝比奈由佳】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagrophy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.